



『秋田からの脳死下臓器提供』

～ 24年ぶり、県内2例目 ～

公益財団法人 あきた移植医療協会
理事長 羽瀨 友則

2024年4月、新年度の始まりとともに、秋田大学医学部附属病院で脳死下の臓器提供があり、心臓・肺・肝臓が他県で移植され、腎臓は私どもの秋田大学医学部附属病院で無事移植が行われました。

臓器提供された患者さんのご冥福をお祈りしますと共に、ご家族、関係者のみなさまには心痛極まりない状況でのご英断により、国内4人の患者さんの命が救われたこと、心から敬意を表します。

今回の脳死下臓器提供は、県内では2例目にあたり、実に24年ぶりのことでありました。24年前とは、状況や環境も大きく変わっており、前例を参考にすることもままならず、県内初の状況に近いものとなりました。

臓器提供から移植には、多様なフェーズや場面、状況の中で多数の『チーム』が形成され、目的に向かって進むこととなります。今回の脳死下臓器提供においても様々な場面において、県外からの医師を含む多くの『チーム』が作られ、リーダー、フォロワーが協力して進んだことに、お礼と感謝を申し上げます。またそこには、当協会のスタッフも大きな貢献を果たした

ことは言うまでもありません。

いずれにしても、新年度早々の落ち着いた中で、救急部や麻酔科の先生方をはじめ、事務方、看護師、検査技師、臨床工学士等々にとって、未経験の脳死下臓器提供というストレスが最大限の中、たいへん上手く進めていただいたことに大いに感動しました。

ところで今でこそ、脳死下の臓器移植もスタンダードな医療になりましたが、現在、スタンダードとされる医療や医学知識のほとんどが、最初は研究や研究的な医療から始まっています。現在の医学における未解決の問題や現象、医療における困難な状況を打破するには、研究を行って前に進めていくしかないことを改めて感じました。

明日の医学や医療の進歩のために、医療従事者だけでなく広く県民のご協力やご理解が必要であり、私ども医療提供者は、その賛同が頂けるよう、情報の提供と共有に向けた努力を惜しんではいけないと感じています。



事業報告

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の状況に留意しながら、例年ベースに近い普及啓発活動を行いました。主なものをご紹介します。

I 「臓器移植普及推進月間」関連事業

10月が当該月間にあたり、県内各地で様々なイベント等を実施しました。

○臓器移植推進街頭キャンペーン

10月1日(日)の午前中に、秋田駅東西自由通路（ぼぼろーど）で、通行人を対象に「意思表示」についての啓発資材を配布しました。



○グリーンリボンライトアップ

移植医療のシンボルカラーである“グリーン”にライトアップしました。

- ・ポートタワー「セリオン」10/1～16



- ・ABS 秋田放送本社 10/13～16



○種苗交換会でのブース展示等

11月2～6日、潟上市天王で開催された「146回秋田県種苗交換会」において、移植医療の周知や献眼登録を推進するため、ブースを設けてポスターの展示や資材の配布に加え、意思表示等のアンケート調査を行いました。



○「市民公開講座」

～笑い・笑顔・健康～

秋田市泉の「すずきクリニック」鈴木裕之院長を講師に、笑いを交えたクリニック漫談『健康長寿法と臓器移植の現状等』が紹介されました。

立ち見が出るなど、定員を超える125名が参加し、会場は笑いの渦に包まれました。



Ⅱ 通年事業

○「検視実務専科」

県警察学校において、検視に携わる職員を対象に、移植医療全般と臓器提供時の検視に関わる対応などについて講義を行いました。



○院内コーディネーター & 医療ソーシャルワーカー合同研修会

全国トップクラスの臓器提供を行っている長崎県から、講師を招いて研修会を開催しました。



講師
 (地独)佐世保市総合医療センター
 センター長 平尾 朋仁
 長崎県臓器移植コーディネーター
 竹田 昭子

○「いのちを考える学習会」

いのちの大切さについての講話を小学校1校、中学校1校、高等学校5校で行いました。



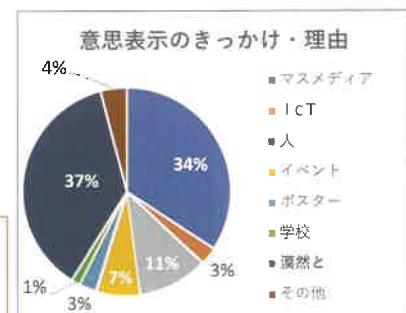
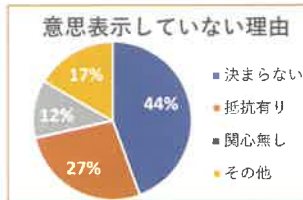
○脳死下臓器提供シミュレーション

秋田大学医学部附属病院では、医師や看護師、検査技師、事務方、当協会 Co が参加し、脳死判定から臓器摘出・搬送までの流れを体験するとともに、法令等に基づく院内対応や外部との連絡、必要書類の整備などについて確認しました。※次ページの事業参照



種苗交換会(潟上市)でのアンケート結果

有効数522、有効率90%



臓器提供に向けた医療機関の取り組みから

「院内体制整備支援事業」* ～ 中通総合病院 ～

○趣旨

県内においても、臓器移植を希望する患者が増える中、臓器提供可能施設である当院において、脳死下における臓器提供が適正かつ円滑に行えるよう、スタッフの知識習得や連携をはじめとする、院内体制の整備を図る。

○内容

①臓器提供マニュアル作成

「臓器の移植に関する委員会」(医師2名、看護3名、技師2名、事務1名)を9回開催し、またその間、脳死下における臓器提供シミュレーションも行い、より現実に即した対応を想定しながら、マニュアルに落とし込んでいった。

②臓器移植に関する研修会 その1

「“つなぐ”医療”をつなげるために”
～移植医・Co・全ての医療者に

伝えたい事～

講師：日立総合病院救急集中治療科
主任医長 小山泰明



③脳死下臓器提供シミュレーション



令和6年2月、20名の参加者で実施。

シナリオ作成では、あきた移植医療協会の佐々木 Co にご支援いただいた。

④臓器移植に関する研修会 その2

「急性期医療にとっての脳死下臓器提供」

～終末期の一選択肢として～

講師：(株)麻生 飯塚病院

救急救命センター長

脳神経外科部長 名取良弘



○脳神経外科診療科長 小田正哉

当院では昨年6月に、12年ぶりとなる『臓器の移植に関する委員会』を開催しました。長い間動いていなかった当委員会を開くことができた背景には、当院が脳死下臓器提供が可能なら5類型施設に認定されたことに加え、あきた移植医療協会の佐々木 Co のご協力により、日本臓器移植ネットワーク (JOT) の「院内体制整備支援事業」に、当院が採択されたことが大きな要因でありました。

本事業の目的である脳死下及び心停止後臓器提供に関する国民の意思をより確実に活かすことができる院内体制を整備するため、院内マニュアルの作成に加え、国内の先進病院から講師を招いての研修会、さらには実際の臓器提供を想定したシミュレーションや各種学会への参加など、病院を挙げて取り組みました。

内容を一つひとつ、みんなで丁寧に検討・準備・遂行することを通じて、院内体制の整備はもとより、病院全体としての一体感を高めることにつながったように感じています。多くの移植医療関係者から、お力添えいただいたことに心から感謝いたします。

この4月には、本県において24年ぶりとなる脳死下臓器提供が行われ、当院職員のみならず県民の移植医療への関心が高まっている状況です。各人の臓器提供に関する意思が尊重され、確実に活かされるよう、当院の院内体制整備を継続・充実していきたいと思っておりますので、引き続きご指導ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

*「院内体制整備支援事業」とは、医療機関における、院内コーディネーター (Co) をはじめとする医療従事者に都道府県 Co が関与し、様々な取組みを行うことで、臓器提供の院内体制を整備する国庫補助事業です。JOTが実施しており、県内では、秋田大学医学部附属病院がこれまで3回実施。中通総合病院はR5年度が初めてです。

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部				② 管理費	3,597,468	3,390,073	207,395
1 経常増減の部				役員報酬	119,000	113,000	6,000
(1) 経常収益				給料手当	2,380,645	2,182,195	198,450
① 基本財産運用益	673,604	684,118	△ 10,514	福利厚生費	404,005	367,817	36,188
② 特定資産運用益	29	391	△ 362	会議費	190	216	△ 26
③ 受取会費	1,401,000	1,450,000	△ 49,000	旅費交通費	0	2,000	△ 2,000
④ 事業収益	0	450,000	△ 450,000	通信運搬費	99,451	189,278	△ 89,827
⑤ 受取補助金等	7,958,535	8,122,851	△ 164,316	消耗什器備品費	0	0	0
県受託金	6,686,941	6,544,292	142,649	消耗品費	55,358	12,032	43,326
日本臓器移植ネットワーク等	1,271,594	1,578,559	△ 306,965	印刷製本費	10,713	37,502	△ 26,789
⑥ 受取寄付金	1,286,840	315,593	971,247	賃借料	66,613	51,703	14,910
⑦ 基本財産取崩振替額	0	2,000,000	△ 2,000,000	諸謝金	110,000	110,000	0
⑧ 特定資産取崩振替額	6,000,000	3,549,550	2,450,450	支払負担金	301,335	302,860	△ 1,525
⑨ 特定資産振替額	260,142	260,142	0	委託費	0	0	0
⑩ 雑収益	0	40	△ 40	雑費	50,158	21,470	28,688
経常収益計	17,580,150	16,832,685	747,465	経常費用計	17,285,630	17,042,155	243,475
(2) 経常費用				当期経常増減額	294,520	△ 209,470	503,990
① 事業費	13,688,162	13,652,082	36,080	2 経常外増減の部			0
給料手当	8,819,760	8,428,064	391,696	(1) 経常外収益			0
退職給付費用	168,000	168,000	0	特定資産取崩振替額	0	0	0
福利厚生費	1,431,204	1,367,516	63,688	経常外収益計	0	0	0
会議費	7,073	16,195	△ 9,122	(2) 経常外費用			0
旅費交通費	504,497	555,874	△ 51,377	経常外費用計	0	0	0
通信運搬費	450,129	523,333	△ 73,204	当期経常外増減額	0	0	0
減価償却費	260,142	260,142	0	当期一般正味財産増減額	294,520	△ 209,470	503,990
消耗什器備品費	0	0	0	一般正味財産期首残高	3,542,326	3,751,796	△ 209,470
消耗品費	388,820	386,257	2,563	一般正味財産期首残高修正額	0	0	0
印刷製本費	533,027	636,131	△ 103,104	一般正味財産期末残高	3,836,846	3,542,326	294,520
賃借料	288,129	297,259	△ 9,130	II 指定正味財産増減の部			0
諸謝金	130,000	335,000	△ 205,000	受取寄付金	480,437	530,741	△ 50,304
保険料	43,750	43,750	0	固定資産除却損	0	0	0
支払負担金	135,927	137,452	△ 1,525	一般正味財産への振替額	6,292,742	5,844,892	447,850
租税公課	10,200	38,050	△ 27,850	当期指定正味財産増減額	△ 5,812,305	△ 5,314,151	△ 498,154
支払助成金	120,000	110,000	10,000	指定正味財産期首残高	159,432,736	164,746,887	△ 5,314,151
委託費	382,324	349,059	33,265	指定正味財産期首残高修正額	0	0	0
雑費	15,180	0	15,180	指定正味財産期末残高	153,620,431	159,432,736	△ 5,812,305
				III 正味財産期末残高	157,457,277	162,975,062	△ 5,517,785

貸借対照表

令和6年3月31日現在 (単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,140,074	3,703,163	436,911
定期預金	167,912	104,508	63,404
未収金	0	0	0
前払金	13,610	0	13,610
流動資産合計	4,321,596	3,807,671	513,925
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	38,272,642	38,012,822	259,820
投資有価証券	99,517,368	99,777,178	△ 259,820
基本財産合計	137,790,000	137,790,000	0
(2) 特定資産			
医療機器購入積立資産	4,449,694	4,001,857	447,837
移植医療推進積立資産	10,000,000	16,000,000	△ 6,000,000
特定資産合計	14,449,694	20,001,857	△ 5,552,163
(3) その他の固定資産			
医療器械	909,677	1,083,419	△ 173,742
什器備品	115,290	137,970	△ 22,680
その他固定資産合計	1,024,967	1,221,389	△ 196,422
(4) 無形固定資産			
ソフトウェア	355,770	419,490	△ 63,720
無形固定資産合計	355,770	419,490	△ 63,720
固定資産合計	153,620,431	159,432,736	△ 5,812,305
資産合計	157,942,027	163,240,407	△ 5,298,380
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	221,199	110,860	110,339
預り金	263,551	154,485	109,066
流動負債合計	484,750	265,345	219,405
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	484,750	265,345	219,405
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	153,620,431	159,432,736	△ 5,812,305
(うち基本財産への充当額)	(137,790,000)	(137,790,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(14,449,694)	(20,001,857)	(△ 5,552,163)
2 一般正味財産	3,836,846	3,542,326	294,520
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	157,457,277	162,975,062	△ 5,517,785
負債及び正味財産合計	157,942,027	163,240,407	△ 5,298,380

「秋田県民共済」様からのご寄付



左から、進藤常務、伊藤理事長、羽瀧理事長、石塚副理事長

「秋田県民共済生活協同組合」様から組合創立40周年に当たり、“社会に不可欠な移植医療ではあるが、意外と知られていないように感じる。一層の普及啓発に活用いただきたい”との趣旨で、当協会へ100万円の寄付をいただきました。

9月29日に秋田県総合保健センターにて、贈呈式を行い、県民共済様からは、伊藤宏正 代表理事理事長と進藤博之 常務理事がお越しになり、当協会からは羽瀧理事長と石塚副理事長が出席。羽瀧理事長からは、移植医療の現状と謝意が述べられました。

臓器提供の現状

右の表は、全国で移植を待っている登録者数（上段、緑色）と、臓器を提供した件数（下段、青色）を表したものです。

登録者数は、年々増加傾向にありますが、提供件数は毎年100件前後と極めて少ない状況が続いています。

本県においても登録者数は増加しており、2023年末で47名の登録者（腎臓）でありましたが、昨年の臓器提供は1件もありませんでした。

ひとりでも多くの方が、臓器移植を受けられるよう、みなさまのご理解をお願いします。

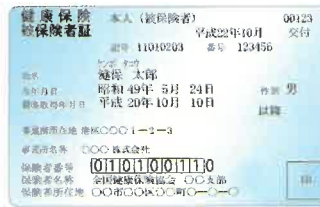
全国の臓器移植 希望登録者数							
西暦(年)	2017	18	19	2020	21	22	2023
心臓	663	736	793	898	923	898	865
肺	349	353	387	446	477	539	572
肝臓	333	340	335	349	332	337	376
膵臓	205	218	204	198	197	181	155
小腸	3	1	5	6	10	10	9
腎臓	12,449	12,150	12,505	13,163	13,738	14,080	14,330
登録者数合計	14,002	13,798	14,229	15,060	15,677	16,045	16,307
提供件数合計	111	95	125	77	78	108	149
脳死下	76	66	97	68	66	93	131
心停止後	35	29	28	9	12	15	18
西暦(年)	2017	18	19	2020	21	22	2023
全国の臓器提供 件数							

臓器提供の意思表示について

意思表示は、臓器提供につながる大切な行動です。正しく知って、思いをつなぎましょう！

3つの誤解！

- 年齢制限はありません。
- 「提供しない」の意思表示もあります。
- 意思表示は、何回でも変更できます。



アイバンクからのお知らせ

角膜移植とは、病気やケガで角膜（くろ目）が濁ってしまい、物が見えなくなったり、視力を失ったりした時に、この濁った角膜を透明な角膜（献眼）と入替える手術のことを言います。

対象となる主な病気には、円錐角膜や水疱性角膜症、細菌またはウイルス感染症、外傷などがあります。

献眼登録とは、亡くなられた時に眼球を提供することを、あらかじめ承諾しておくことです。専用のハガキ（右）がありますので、希望される方はご連絡ください。折り返し送付します。

0108790

公益財団法人
あきた移植医療協会
行

秋田市千秋久保田町六番六号
秋田県総合保健センター1五階

AKITA
eye
EYE BANK

登録 献眼

眼球提供承諾書

公財法人 あきた移植医療協会 様

★提供希望者
私は、視力障害者の視力回復に役立てるため、死後の眼球を提供することに承諾します。

氏名 〇〇〇〇〇〇

〒 〇〇〇〇〇〇

生年月日 〇〇年 〇〇月 〇〇日

性別 〇

家族等
私は、提供希望者の意志を尊重し、死後できるだけ早く協会に連絡します。

氏名 〇〇〇〇〇〇

〒 〇〇〇〇〇〇

性別 〇

私は、献眼の際、視族優先提供を希望する・しない（どちらか一方を希望する）

★この承諾をどこで入手されましたか？

移植医療を応援しています！

グリーンリボン サポーター について



趣旨等

「グリーンリボン サポーター」とは、企業・団体が届出（賛同）し、それぞれの出来る範囲で、移植医療に関する普及啓発活動を行うものです。当協会は、その取組み内容に合わせた資材等を提供します。
 ※グリーンリボンは、移植医療のシンボルマークです。

提供資材等（以下に例示）

ポスター、リーフレット、ミニのぼり、ピンバッジ、ステッカー、募金箱、各種マーク等に加え、15～30分程度の「出前講座（学習会）」などにも対応できます。※資材は変わる場合があります。

A 2版ポスター



各種マーク(JPEG) 50KB程度



募金箱

18×11×高さ 16cm



ステッカー 直径 12cm



ピンバッジ 2.3×2cm



ミニのぼり 36×15cm



リーフレット BOX



リーフレット A4版三つ折り



賛同企業・団体等（令和6年3月31日現在）※賛助会員は除く

50音順・敬称略

(公財)あきた企業活性化センター、(福)秋田県共同募金会、(株)秋田銀行、(一社)秋田県医師会、(福)秋田県社会福祉事業団、(一社)秋田県障害者スポーツ協会、秋田県腎臓病患者連絡協議会、(一財)秋田県総合公社、(公財)秋田県総合保健事業団、(公社)秋田県ふるさと定住機構、(株)秋田県分析化学センター、(一社)秋田県薬剤師会、(地独)秋田県立病院機構、(地独)秋田県立医療療育センター、(地独)秋田県立循環器・脳脊髄センター、秋田商工会議所、秋田千秋久保田ライオンズクラブ、大館能代空港ターミナルビル(株)、(一社)鹿角建設業協会、かづの厚生病院、(株)クラヤ、軽食喫茶 T&A、湖東3町商工会井川事務所、さとう眼科、全国心臓病の子どもを守る会秋田県支部、大同衣料(株)、東北電力(株)秋田支店、ながぬま内科、日本赤十字社秋田県支部、日本郵便(株)秋田中央郵便局、野村證券(株)秋田支店、(株)北都銀行、道の駅しょうわ、道の駅てんのう、みちのく温泉パスポート、三菱マテリアル(株)東北電力所、明治安田生命保険(株)鹿角営業所、よこて商工会、(株)米村組、ライオンズクラブ国際協会 3 3 2 -F 地区

★「グリーンリボン サポーター」についても、気軽にお問い合わせ下さい。★

令和5年度 賛助会員

(令和6年3月31日現在)
(50音順・敬称略)

法人・団体

- 10口**：(株)秋田医科器械店、あきた腎・膠原病・リウマチクリニック、(医)桐山会 山田眼科医院、ユナイテッド計画(株)
- 6口**：(医)沁秋会 おのぼ腎泌尿器科クリニック、(株)サノ・ホールディングス、清水泌尿器科・内科医院
- 4口**：秋田大学医学部泌尿器科学講座、小松クリニック、(医)青嵐会 本荘第一病院
- 3口**：秋田テレビ(株)
- 2口**：(株)アイネックス、(医)アイリスさとう眼科、秋田エプソン(株)、(公社)秋田県看護協会、秋田赤十字病院、(医)秋田泌尿器科クリニック、秋田港ライオンズクラブ、阿部眼科、(医)遠藤クリニック、おおこし眼科、大曲厚生医療センター、男鹿みなど市民病院、おのぼ眼科、小山田医院、(株)神成堂、北秋田市民病院、(医)和光会 共立クリニック、(医)藤医会 工藤泌尿器科医院、(医)黒澤医院、国際ソロプチミスト秋田、(医)駿翠会 こはま泌尿器科クリニック、さくら内科・糖尿病クリニック、(株)沢木組、シー・アンド・シー(株)、下田内科消化器科医院、(地独)市立秋田総合病院、市立角館総合病院、(医)せいとく会 菅医院、(医)正和会、(医)高津内科医院、(有)玉屋眼鏡店、土崎駅前内科、(医)明和会 中通総合病院、能代山本医師会病院、(医)あけぼの会 花園病院、早川眼科伊奈皮ふ科医院、平鹿総合病院、(医)敬徳会 藤原記念病院、(医)尚仁会 松田記念泌尿器科クリニック、(有)松田薬局、由利組合総合病院、由利電子部品(株)
- 1口**：秋田協同印刷(株)、(公財)秋田県老人クラブ連合会、秋田厚生医療センター、(株)秋田スズキ、(医)祥仁会 秋田南クリニック、秋田ライオンズクラブ、(医)阿部耳鼻咽喉科医院、大曲ライオンズクラブ、雄勝中央病院、男鹿ライオンズクラブ、(有)奥田酒造店、かん眼科、(医)山の丘よつば会 クローバーデンタル、こまち透析クリニック、(株)斉藤光学製作所、(医)明翁堂 佐々木医院、(医)佐藤病院、(株)三戸印刷所、(株)新東組、鈴木小児科、(医)永康会 高橋久志眼科医院、立木医院、なべしま眼科クリニック、能代厚生医療センター、(株)八郎瀧印刷、(医)早川眼科医院、梵天内科クリニック、(株)柳沢建設、ゆざわ眼科医院、(医)湯沢内科循環器科クリニック、横手愛宕ライオンズクラブ、わかまつ内科クリニック、(医)渡邊医院

個人

- 10口**：岡崎 佳治、佐藤 良延
- 5口**：石塚 真人、佐々木正博
- 4口**：高山孝一朗
- 3口**：井上 高光、今井 正雄、奥山 慎、加藤 哲郎、神田 壮平、千葉 修治、吉田 武子、吉富 健志
- 2口**：阿部真由美、佐藤 滋、佐藤 徳子、鳥海 良寛、沼倉 一幸、羽瀨 友則、藤山 信弘
- 1口**：安杖 一、五十嵐 潔、石井 淳、石黒かほる、石田 俊哉、伊藤 卓雄、薄田 寿、大里 祐一、大野 光子、金子 悦子、川口 一、工藤 勉、熊谷 悦子、斎藤 正弘、齋藤 雅也、齋藤 満、嵯峨 泰治、佐藤 泰和、佐藤 正人、渋谷 清美、菅原 優子、鈴木 一正、鈴木 丈博、高橋 敦子、高橋 栄子、高橋 誠、竹谷 和子、立木 裕、田中 聡、中村 成光、成田伸太郎、藤原 綾子、本間 猛、真坂喜代子、松田 芳教、松瀨 秀次、村越 正道、村田 勝敬、最上 智子、吉方清治郎、渡辺 孝雄

寄付者ご芳名

50音順・敬称略

秋田県民共済生活協同組合

代表理事 理事長 **伊藤 宏正**

(1,000,000 円)



ライオンズクラブ国際協会

332-F 地区

前地区ガバナー **石垣 勝康**

(447,837 円)

秋田県眼科医会

会長 **内山 博之**

(200,000 円)

イオンリテール (株) イオン御所野店(32,600 円)、八木橋 雅孝(10,000 円)、
進藤真理子(5,000 円)、梵天内科クリニック(5,000 円)、
里内 紘子(3,000 円)、清水 広子(3,000 円)、柴田 協子(3,000 円)、奈良 玲子(3,000 円)、
藤原 綾子(3,000 円)、渡辺 照子(3,000 円)、石田 俊哉(2,000 円)、熊谷 悦子(2,000 円)、
高橋 敦子(2,000 円)、松渕 秀次(2,000 円)、村越 正道(2,000 円)、村田 勝敬(2,000 円)

賛助会員と寄付者の皆様には、ご支援いただき誠にありがとうございました。

賛助会員への入会、寄付金のお願ひ

当協会は、県民の健康と福祉の向上をめざし、腎臓や角膜をはじめとする臓器移植の普及啓発にかかる各種事業とアイバンク事業(献眼登録、移植者登録、角膜のあっせん等)を行っています。

事業の運営は、賛同をいただいた皆様からの会費やご寄付など、ご厚志により支えられています。

皆様からのあたたかいご理解とご支援を賜りますようお願い致します。

なお、賛助会費や寄付金は、税制優遇の対象となります。

【賛助会員】

年会費(1口) 法人(団体) : 5,000 円
個人 : 3,000 円

【ご寄付】金額は自由です

《振込口座》賛助会費、ご寄付の振込先

○ゆうちょ銀行 : 2500-1-5317
○秋田銀行 : 県庁支店 普通 436836

※口座名義は、どちらも

「公益財団法人 あきた移植医療協会」

ガッコ茶っこ



アイバンクに登録されている方が亡くなった時、当協会に連絡が無いと、献眼されずに火葬されてしまいます。生前の本人の尊い意思、“他人(ひと)のために、眼球を提供したい”との思いをかなえることができません。

本人が家族等にアイバンク登録のことを伝えていなかったり、忘れてしまった場合などに、そんなことが起きてしまいます。

そこで、当協会ではアイバンク登録者用に、連絡先(24時間対応)を明示した冷蔵庫に貼るマグネットを作りました。昨年は、約半数の方に送付しましたが、今年も続けていく予定です。

私は、アイバンクに登録しています。

AKITA eye EYE BANK

亡くなった時は、すぐに電話をしてください。090-090-

私の思いを、かなえてください。

評議員・役員等名簿 (令和6年8月1日現在)

【評議員】

- 阿部 徹
(秋田県眼科医会)
- 佐々木 修
(一般社団法人 秋田県薬剤師会 常務理事)
- 白川 秀子
(公益社団法人 秋田県看護協会 会長)
- 須田 広悦
(社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会 常務理事)
- 藤山 信弘
(秋田大学医学部付属病院臨床研究支援センター 講師)
- 松橋 文昭
(秋田県腎臓病患者連絡協議会 事務局長)
- 三浦 英一
(本荘舞鶴ライオンズクラブ)
- 宮内 美輝子
(国際ソロプチミスト秋田 トレジャー)
- 柳澤 俊晴
(大曲厚生医療センター 副院長)

【理事】

- 理事長 羽瀧 友則
(秋田大学大学院医学系研究科長・医学部長、教授)
- 副理事長 岩瀬 剛
(秋田大学大学院医学系研究科眼科学講座 教授)
- 副理事長 石塚 真人
(秋田テレビ株式会社 代表取締役社長)
- 理事 浅野 雅彦
(秋田県商工会議所連合会 事務局長)
- 理事 伊藤 和美
(一般社団法人 秋田県銀行協会 常務理事兼事務局長)
- 理事 内山 博之
(秋田県眼科医会 会長)
- 理事 小玉 喜久子
(秋田県女性団体協議会 会長)
- 理事 齋藤 満
(秋田大学医学部付属病院 血液浄化療法部 准教授)
- 理事 佐藤 利秋
(本荘舞鶴ライオンズクラブ 理事)
- 理事 村越 正道
(秋田県腎臓病患者連絡協議会 会長)

【監事】

- 智田 邦英
(公益財団法人 秋田県総合保健事業団
専務理事兼事務局長)
- 山岡 ふき子
(公益社団法人 秋田県看護協会 常務理事)

【顧問】

- 加藤 哲郎
(一般財団法人 脳神経疾患研究所附属
総合南東北病院附属泌尿器疾患研究所所長)
- 佐藤 滋
(医療法人 楽山会 理事長、せいてつ記念病院長、健康管理センター長)

令和6年度の取り組みから (速報)

○街頭PR (ぼぽろーど、5/19)



○「命の学習会」(六郷高校、6/18)

